

ノートパソコンやタブレットを購入するときは、用途以上のオーバースペックな製品を購入するのは無駄な投資です。購入を誤らないように、価格に反映される CPU の特徴を理解しておきましょう。

インテル社から提供されている 7 つの CPU

現在、ノート PC やタブレット向けにインテル社から提供されている CPU は下記の 7 種類です。

下に行く程、性能が高く価格も高くなります。



1. Intel Atom
2. Intel Celeron
3. Intel Pentium
4. Intel Core i3
5. Intel Core i5
6. Intel Core i7
7. Intel Core M

3 つの CPU グループ

CPU は、下記の 3 つに分類できます。

1. [Atom/Celeron/Pentium]グループ
2. [Corei3/Corei5/Corei7]グループ
3. [CoreM]グループ

メールやネット閲覧程度の場合

メールの送受信や SNS への書き込み、ネットの閲覧程度なら

[Atom/Celeron/Pentium]グループを推奨します。Atom は、16GB や 32GB など大容量のメモリーが搭載できず、USB3.0 も使えませんが、長時間バッテリーの駆動ができます。Celeron や Pentium は、13 インチ程度の画面サイズのノートパソコンや、3 万円以下の激安パソコンに搭載されています。

一般的な使い方の場合

ビジネスでも家庭でも、ストレスなく使いたいなら、[Corei3/Corei5/Corei7]グループを推奨します。Corei 系は、高性能な Windows タブレットから、2in1 ノート PC、A4 フルサイズノートなど、あらゆるパソコンに搭載されています。

中でも、Corei3 は、Atom とそれほどパフォーマンスが変わりませんが、USB3.0 やシリアル ATA の 6Gbps 対応など、ハードウェアスペックが Atom より高いことが特徴です。ただ、Corei 系のノート PC を選ぶなら、より高速で処理能力の高い Corei5 や Corei7 が搭載されたタイプを推奨します。

アクティブに使う方の場合

[CoreM]グループを推奨します。CoreM は、オールマイティで性能も優れていますが、その分価格も高いです。